

# 会館だより

2012年 3月号 第273号



財団法人日中友好会館

## 「会館だより」 3月号の内容

### 行事案内

《日中友好会館美術館》

- ・催事の手配

《日中友好後楽会》

- ・第22回観桜会

### 活動記録

- ・1月新春談話会
- ・後楽寮2012年春節祝賀会
- ・東京都各区日中友好協会の春節行事に多数の寮生が参加
- ・2011 日本青年メディア関係者訪中団が北京、瀋陽、大連で中国のメディア関係者らと交流
- ・平成23年度香港・澳門高校生訪日団が来日 東京、熊本で交流

### 会館行事と人の動き

#### 表紙

『太白醉宮』 作：程十發  
(水墨画 1980年 65×44.5 cm)

## 行事案内

### 日中友好会館美術館

3月には、いくつかの貸美術館催事が予定されておりますが、詳細未定ですので、決定次第、日中友好会館ホームページに掲載いたします。ご了承ください。

ホームページ:

<http://www.jcfc.or.jp/index.html>

### 日中友好後楽会

#### ◆第22回観桜会

日時: 3月26日(月) 午後5時30分より  
(午後5時受付開始)

会場: 涵徳亭

(小石川後楽園内、文京区後楽1-6-6)

会費: お一人3,000円(非会員4,000円)

特に寒かった冬を乗り越えた美しいしだれ桜が見られることと思います。今年も賑やかに歓談・交流をお楽しみください。会員の皆様が沢山集まる少ない機会ですので、奮ってご参加下さい。園内にて桜をご覧になる方は最終入園が午後4時30分までとなっておりますので、お早目にお越し下さい。(入園料別途)。

#### 【お申込み・お問合せ】

後楽会事務局 小林陽子

電話: 03-3811-5305 FAX: 03-3811-5263

メールアドレス: [bunka@jcfc.or.jp](mailto:bunka@jcfc.or.jp)

## 活動記録

#### ◆1月新春談話会

後楽会の新春談話会は、1月19日会館内レストラン「豫園」で開催されました。会員・寮生合わせて44名が参加し、賑やかな会となりました。今年の日中国交正常化40周年です。日中の交流が更に深まる楽しい活動ができればと思います。日中友好後楽会の活動へのご参加よろしくお願いたします。

(後楽会事務局)

#### ◆後楽寮2012年春節祝賀会

2012年1月21日、日中友好会館後楽寮の中国人留学生が春節祝賀会を盛大に開催し、300名余りの中国人留学生と日本人が一同に集まり、中国の旧暦の新年を迎えました。

一次会は日中友好会館の地下大ホールで開催されました。第37回後楽寮寮生委員会の委員長の劉明全氏がまず後楽寮全ての寮生を代表してお祝いの言葉を述べました。続いて日中友好会館理事長の村上立躬氏、中国大使館公使参事官の白剛氏がそれぞれ挨拶の言葉を述べられました。



挨拶をする村上理事長

引き続き、後楽寮芸術団が豊富なプログラムを披露しました。東京学芸大学の孟繁傑さんの独唱《吉祥子頌》、東京大学の楊力さんの琵琶の演奏《人間天堂》、早稲田大学の李天舒さん、黄冠さんと東京大学の于蒙さん、王瓊さんのダンス《青春飛揚》、東京芸術大学の班文林さんのピアノと東京大学の張玲さんのバイオリンの演奏《漁舟唱晚》、東京学芸大学の孟繁傑さんと早稲田大学の孔曉鑫さん、王小雄さん、東京大学の秦晴さんの合奏《茉莉花》《花》などの演目が披露されました。そして最後に後楽寮合唱団による日本の歌曲《見上げてごらん夜の星を》と中国の歌曲《我和我的祖国》の合唱があり、場内はクライマックスを迎えました。

後半は後楽寮の地下食堂で行われました。寮生とお客様は一緒になって、喜ばしい雰囲気の中、おいしい料理をいただいて交流を深めた後、寮生代表によるファッションショーが行われ、独唱《蒙古人》、舞踊《草原恋》や古箏、太極拳、書道の実演などが行われました。会場にいる寮生は抑揚のある楽曲の中で祖国の新しい一年の繁栄と輝きを祝いました。

(後楽寮寮生委員会)

#### ◆東京都各区日中友好協会の春節行事に多数の寮生が参加

今年は1月23日に春節を迎え、東京都内にある各区の日中友好協会による関連行事に後楽寮生及び後楽寮芸術団は引っぱりだことなりました。

まず1月29日(日)には北区日中友好協会の「春節餃子パーティー」に寮生が招待され、参加者と水餃子と北京ダックを食べながら交流し、ビンゴ大会では参加寮生全員が景品をいただくことができ、後半にはブレイクダンスと歌を披露しました。

次に2月11日(土)は渋谷区日中友好協会の「春節のつどい」。これもやはり寮生が

歌や古箏、琵琶、コカリナの演奏など芸術団の演目として30分間披露、参加者の拍手喝采を浴び大好評となりました。

そして同日午後には千代田区日中友好協会の「新春のつどい」に招待され、会員の方々と交流を深め、マージャンビンゴ大会で盛り上がった後、近くにある愛全公園内の周恩来記念碑を見学し、記念撮影をしました。



周恩来記念碑の前にて

毎年各区の日中友好協会には花見の会や公演のチケットをいただくなどお世話になっているので、後楽寮芸術団の披露により日頃の恩返しのできたのではないかと思います。また、各日中友好協会会員との交流を通じて寮生及び後楽寮の事を知っていただけたのではないのでしょうか。今後も引き続きこのような交流を続けていければと願っています。(留学生事業部)



北区日中友好協会にて歌の披露

## ◆2011 日本青年メディア関係者訪中団が 北京、瀋陽、大連で中国のメディア 関係者らと交流

2011 日本青年メディア関係者訪中団（一行計 34 名）が、2011 年 12 月 19 日から 12 月 25 日の日程で訪中した。同団は、武田勝年当財団常務理事を団長とし、遠山茂副団長（外務省アジア大洋州局中国・モンゴル課地域調整官）のほか、全国から集まった新聞、放送、雑誌、広告等の青年メディア関係者で構成された。

同団の派遣は、2010 年 5 月の温家宝総理来日時の日中首脳会談において、温総理より日本のメディア関係者及び社会科学研究者の招聘が表明されたことに基づき実現したもので、当財団が外務省の委託を受け実施、中国側は国務院新聞弁公室が受け入れを担当した。日中青少年交流事業として、同弁公室招聘による日本メディアの団としては、今回が初めての派遣となった。

訪中団は「日中協力」をテーマとし、北京市、遼寧省瀋陽市及び大連市を訪問、中国メディア関係者や日本研究者と率直に意見交換を行ったほか、中国を代表する大型企業やコミュニティー等を視察して、中国のメディア事情はもちろんのこと、中国の発展状況や人々の暮らしについて理解と知識を深めるとともに、関係者との友好を深めた。

20 日夜には、国務院新聞弁公室主催の歓迎宴が開かれ、王仲偉副主任から「国と国との付き合いは、つまるところ国民同士の付き合いである。日中の国民関係の強化のため、とりわけメディア同士の交流を深める必要がある」と歓迎の挨拶があり、続き武田団長からは「我々の今回の訪中テーマは日中協力。短い訪中期間であるが、メディア分野もさることながら歴史や文化にも触れ、また関係機関と十分な議論を行って中国への理解を深め、日本に持って帰り伝えたい」と挨拶が述べられた。



王仲偉国務院新聞弁公室副主任（右）と会見する  
武田勝年訪中団団長（左）

北京では、最初の交流として人民日報社を訪問。何崇元副社長より概要説明を受けた後、人民網のスタッフらと意見交換を行い、インターネットメディアの現状について団員から多くの質問が出た。

21 日午前に行われた日中メディア関係者座談会では、北京大学新聞・伝播学院の程曼麗教授による中国メディアの変遷と現状についての講演を聞いた後、日本駐在経験のある新華社、中国国際放送等のメディア関係者とグループに分かれ自由に意見交換を行った。中国側参加者はみな日本語が堪能であり、中国で利用者が急増しているミニブログ「微博」やメディアの規制について等、活発な意見交換が繰り広げられた。

同日午後訪問した中国社会科学院日本研究所では、李薇所長以下 3 名の日本研究者らの発表を聞いた後意見交換を行った。2010 年の尖閣諸島沖での漁船衝突事件をめぐるその後の日中の対応の在り方や、北朝鮮の金正日総書記の死去を受けての今後の動きなど、メディア関係者ならではの質問が相次いだ。

22 日には、瀋陽市へ移動、中国を代表する大型企業である瀋陽機床集団と遠大企業集団を訪問した。

いずれも急速に世界へと進出し成長を遂げている企業であり、中国の経済発展ぶりを印象づける訪問となった。

また、遼寧省新聞弁公室主催の歓迎昼食会、夜には王凱瀋陽市副市長主催の歓迎宴が行われた。

23日は、遼寧ラジオテレビメディア集団を訪問。中国青年メディア関係者代表団の既参加青年も同席して意見交換が行われた。



遼寧ラジオテレビメディア集団を視察

午後には、瀋陽市から大連市まで鉄道で移動した。4時間半の長旅であったが、列車内で乗客と交流したり、また車窓の景色から一般市民の日常を垣間見る貴重な体験となった。

大連市では、天興コミュニティーを訪問。合唱、ダンス、切り絵等中高年のグループ活動や、演技の練習をしている子供たちに触れ、生き生きと活動している住民の様子を見学した。

このほか、中国滞在中、北京では故宮博物院及び中国国家博物館、遼寧省では瀋陽都市計画展覧館と旅順の203高地を参観し、中国の悠久の歴史を体感することができた。

訪中団は12月25日に全日程を終了し、無事に帰国した。団員からは、「経済だけでなく考え方や報道も自由度が増していることを感じた」、「実際の中国を体験したことがなく誤解している日本人が多いと思うので、自分達メディアの役割が大きいことを再認識した」といった感想が聞かれ、訪中を通して大きな成果を得られたことがうかがえた。

最後に、今回の訪中にあたり、ご指導ご

協力いただいた関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

(総合交流部)

#### ◆平成23年度

#### 香港・澳門高校生訪日団が来日 東京、熊本で交流

2011年12月13日から21日の日程で、平成23年度香港・澳門高校生訪日団(香港団団長・廖亜全 宣道会陳朱素華紀念中学校長、澳門団団長・賀誠 教業中学副校長)が来日した。同団は、中国の特別行政区である香港から55名、澳門から15名の計70名で構成され、一行は外務省訪問、セミナー、歓迎レセプションに参加したほか、東京と熊本で学校交流やホームステイを行い、日本の高校生と友情を育んだ。本団招聘事業は、当初7月を予定していたが、東日本大震災の影響で延期となり、5カ月を経て来日が実現した。

同団は12月14日に外務省を訪問。セミナーでは「世界の水事情～将来を担う若い世代にできること～」をテーマに、ジャーナリスト、東京学芸大学客員准教授、アクアスフィア橋本淳司事務所代表 橋本淳司氏による講演を聞き、中国でも深刻な環境問題である水問題に高校生たちは大いに興味を持った様子で、質疑応答では多くの質問があがった。その後、環境施設として有明水再生センターを視察し、節水意識を持つことの大切さを更に深く考えさせられたようだった。

同日夜には、訪日団の歓迎レセプションが行われた。遠山茂外務省アジア大洋州局中国・モンゴル課地域調整官、史光中華人民共和国駐日本国大使館一等書記官のほか、ローラ・アーロン香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部代表、交流先の学校関係者らが参加した。高校生によるパフォーマンスでは、東京都立白鷗高等学校・附属中学校の長唄三味線部が日本の伝統的で美しい演奏を披露した。香港団は団員全員

による合唱、澳門団は澳門を紹介する寸劇と歌を披露し、それぞれ大きな拍手が送られた。

### 充実した学校交流とホームステイ

15日に移動した熊本では2コースに分かれ、荒尾市と八代市で学校交流とホームステイを行った。熊本県立荒尾高等学校では、体育、英語、生物の授業や、剣道、バドミントン、華道などの活動に参加したほか、交流会で荒尾高校生と一緒に「だるまさんが転んだ」に挑戦した。初めての日本式鬼ごっこに教室中から笑い声が溢れた。熊本県立八代高等学校では、調理実習の授業に参加。ホームステイ先へのお土産に、熊本名物のいきなり団子を皆で一緒に協力して作った。その後、柔道、剣道、音楽、美術など、それぞれ関心のある授業に参加し、日本高校生と親睦を深めた。

ホームステイは学校交流受け入れ校のほか、荒尾市と八代市の協力により、一般市民家庭でも実施した。ホストファミリーと一緒に熊本特産の晩白柚狩りや餅つきをしたり、観光やショッピングに出かけたり、日本の家庭料理を味わったりと温かいもてなしを受け、短い時間ながらも思い出に残る楽しい時間を過ごした。別れ際にはたくさん生徒が涙を流して別れを惜しみ、日本にまた戻ってきたいという声が多く聞かれた。

19日には東京都立第四商業高等学校と東京都立田柄高等学校で学校交流を実施。各学校とも多彩なプログラムが用意されており、香港・澳門の高校生たちは折り紙や茶道といった日本文化に関する授業を受けたり、部活動、交流会に参加したりした。交流会では日・香・澳の高校生がパフォーマンスを披露しあい、言葉の壁を乗り越えた交流ができた。どの学校でも最初は緊張の色が見られたが、アニメや音楽などのポップカルチャー、学生生活など同世代共通の話題で盛り上がり、皆笑顔に溢れ、充実した時間を過ごした。



抹茶体験で日本文化に触れる  
(東京都立第四商業高等学校)

20日は慶應義塾大学三田キャンパスを訪問した。「日中関係の現状について」というテーマの模擬授業に参加したほか、中国人留学生による留学生活や震災後のボランティアの体験談を聞いたり、歴史と伝統ある建物を巡るキャンパスツアーや、カフェテリアで昼食をとったりし、日本の大学生生活を体験する貴重な機会となった。

そのほか一行は、熊本城をはじめとする名所旧跡や、香港・澳門では見ることができない阿蘇山や草千里といった大自然を満喫したほか、藍染め体験を通し、日本の伝統文化の一端に触れた。



阿蘇の大自然を満喫

歓送報告会では、日本滞在中の活動や体験を振り返り、香港・澳門の高校生からは帰国後、日本での素晴らしい思い出を両親

や友人に話したい、また日本を訪れたいという思いが語られ、賑やかな雰囲気の中、皆で訪日活動の成功を祝った。

全ての交流プログラムを終了し、訪日団70名は12月21日に羽田空港より帰国の途に着いた。本事業の実施にご協力頂いた外務省、文部科学省、中国大使館、香港駐東京経済貿易代表部、各自治体・教育委員会、学校関係者、関係団体の皆さまに、この場を借りて厚く御礼申し上げたい。

(総合交流部)



## 会館行事と人の動き 1/1～31

### ● 会館行事

- 1/19 ▶ 後楽会気功・中国画教室、後楽会新春談話会
- 1/21 ▶ 後楽寮春節祝賀会
- 1/28 ▶ 「祈りと祝福の藍布ー中国貴州ろうけつ染め展」開幕(～2/22迄、1/31開幕式・作品解説、歓迎宴)

### ● 来館・訪問・面会

- 1/ 5 ▶ 外務省新年挨拶(村上理事長、武田常務理事、王理事他)
- 1/11 ▶ 榊中央商会高木専務他来館(村上理事長)
- 1/12 ▶ 中国大使館教育処白剛公使参事官他来館(谷野副会長、村上理事長、王理事他)
  - ▶ 北京ゴルフクラブ原幸男社長来館(村上理事長)
- 1/13 ▶ 富坂警察署浅野恒警備課長他来館(入江常勤参与)
- 1/17 ▶ 藤田観光(株)藤田基彦氏他来館(村上理事長)
- 1/18 ▶ アジア環境整備機構川上事務局長来館(村上理事長)
- 1/19 ▶ 中国大使館韓志強公使参事官来館(村上理事長、武田常務理事、王理事他)
  - ▶ 日中武文会黄代表来館(村上理事長)、陳学全参与来館(村上理事長)
- 1/23 ▶ (NPO)小石川後楽園庭園保存会末博光監事(入江常勤参与)
- 1/24 ▶ 中青旅日本(株)関代表取締役社長来館(村上理事長他)
- 1/25 ▶ 三菱東京UFJ銀行市川東京公務部長他来館(村上理事長、武田常務理事他)
  - ▶ 橋山禮次郎参与来館(村上理事長他)
- 1/26 ▶ 国際日本文化研究センター尾形洋一研究員来館(村上理事長)
- 1/31 ▶ 中国美術館遊慶橋党書記、馬書林副館長他代表団来館(村上理事長)

### ● 行事参加、その他の活動

- 1/ 4 ▶ 第28回雅誕会新春祝賀会(村上理事長)
- 1/ 5 ▶ 第58回日本書道美術院新春祝賀会(村上理事長)
- 1/ 6 ▶ 富坂警察署武道始式、新年懇親会(入江常勤参与)
- 1/ 8 ▶ 第29回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会(王理事)
- 1/10 ▶ 西武グループ新年会(王理事)
- 1/12 ▶ 中国大使館主催長崎県との新年会(王理事)
- 1/13 ▶ 中国大使館教育処新年会(武田常務理事、王理事他)
- 1/15 ▶ 北京故宫博物院200選展(村上理事長他)
- 1/16 ▶ 中国大使館新年会(周留学生事業部長、後楽寮生)
- 1/17 ▶ 共同通信社「高橋紘さんをしのぶ会」(村上理事長他)
- 1/18 ▶ (社)日中友好協会新年祝賀会(村上理事長、武田常務理事)
- 1/20～1/23 ▶ 美術館催事「景雲書道展」
- 1/24 ▶ 日中友好7団体理事長会議(村上理事長)
- 1/25 ▶ 中日大学生新春交流会(留学生事業部、後楽寮生)
- 1/27 ▶ 中国大使館員と華僑人士との新年会(王理事)
  - ▶ (NPO)小石川後楽園庭園保存会総会(於:涵徳亭、入江常勤参与)
  - ▶ 松山バレエ団御招待「新・白鳥の湖」鑑賞会(後楽寮生70名)
- 1/29 ▶ 北区日中友好協会「春節餃子パーティー」(留学生事業部、後楽寮生)